

群馬県国際理解教育研究会だより

群馬県国際理解教育研究会 発行責任者 会長 富澤 厚

2020年(令和2年)



シニア派遣セミナー&帰国教師実践報告会

昨年の11月16日(土)に、群馬県庁昭和庁舎において「シニア派遣セミナー」並びに「帰国教師実践報告会」が開催されました。今回、初めて昭和庁舎を会場としてセミナーを開催しましたが、県内各地からたくさんの方々が参加して下さいました。現職の先生やシニア派遣の先生方による教育実践や現地での生活事情のお話は、それぞれの先生方の立場や派遣国の違いなどもあり、とても興味深いものばかりでした。



はじめに・・・



群馬県国際理解教育研究会の富澤会長より挨拶がありました。近年の現職派遣の減少に伴い、その不足をシニアでまかなっていく傾向にあるということでした。校長職だった方も教諭として派遣されるケースも最近では増加傾向にあるそうです。

帰国教師実践報告



実践報告会では、中国特別行政区の香港日本人学校に派遣された、みどり市立笠懸南中学校の福田康子先生に発表していただきました。

民主化デモが行われていることがニュースで取り上げられていることもあり、香港の現状がどのようになっているのかとても詳しくお話ししてくださいました。ニュース映像では暴徒化した市民がデモを起こしているかのような印象でしたが、実際は香港当局にデモ活動の申請をし、きちんと許可を取ってからルールに則って行っているとのことでした。

香港日本人学校では、日本と同様に家庭訪問をしたり、不登校や特別な支援を要する児童達に対して組織で対応したりするなど、日本と同様に

きめ細やかな指導がなされていることが分かりました。

また、スクールバスの利用や登校後の門の施錠など、治安面の対策にも力を入れているとのことでした。香港は特別行政区ということもあり、外国との政治・経済面での交流がさかんな地域です。そのため、香港日本人学校でも現地校との交流会が盛んであったり、英語や広東語の学習に力を入れているなど、実践的な国際理解教育に取り組んでいるようでした。

今後、アジア諸地域の連携が重要となっていく上で、香港での3年間は大変貴重な経験だったことと思います。ぜひ現地で実践されたことを今後の日本での教育活動に活かして欲しいと思います。



【香港日本人学校】福田康子先生



質疑応答でも話が盛り上がりました。

シニア派遣セミナー



シニア派遣セミナーでは、ブラジルのマナウス日本人学校に派遣された、須田功先生に発表していただきました。須田先生は校長として定年を迎えられた年に受験され、教諭として即時派遣されました。退職の手続きとともに派遣の準備をするなど、派遣までのあわただしいスケジュール等についても教えていただきました。

シニアで派遣を希望される先生方は、現職の先生方と違って県教委を通さずに文科省に直接応募することになります。今回はその手続きや面接での質問事項、健康・医療面での配慮事項などを説明していただきました。

近年、シニア派遣の先生方が増加傾向にあるため、派遣を検討されている先生方にとって大変貴重なお話になりました。



【マナウス日本人学校】須田功先生

シニア派遣者によるパネルディスカッション



続いて、シニア派遣の先生方によるパネルディスカッションが行われました。マナウス日本人学校の須田功先生、アメリカ・ニュージャージー補習校の天川博先生、タイ・バンコク日本人学校の唐沢宏先生の3名のシニア派遣の先生方がパネラーとして参加し、会場からの質問に答えて下さいました。

日本人学校と補習校の勤務内容の違いや、単身と帯同で派遣される場合の負担や配偶者へのサポート、体調を崩したときの対応など、現地でのエピソードなどを交えながら詳しく説明して下さいました。また、全海研の推薦書や選考調査票の記入の仕方、面接での質問内容等具体的なお話がたくさんあり、大変参考になりました。



セミナーお疲れ様でした

セミナー終了後、「トラットリア ヴィーノヴィーノ」にて懇親会を行いました。役員は土曜日の夕方に時間のやりくりをしながらセミナーの準備等をしていますので、日頃の労をねぎらいあいました。情報交換では、それぞれの派遣国のエピソードなども伝え合うことができました。おいしいイタリア料理とワインをいただきながら・・・



「世界の広場」の封入作業を行いました

1月18日(土)に、高崎市立寺尾小学校校長室にて、「世界の広場」第39号の封入作業を行いました。今回はカラー印刷になったため、派遣国の写真や現地での様子、教育実践等が見やすくなり、見応えのある冊子となりました。

